

事業報告書

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日

I 法人の概況

1. 設立年月日

平成19年3月28日

2. 定款に定める目的

公益財団法人加藤山崎教育基金は、初等・中等・高等教育における基礎教育及び文化芸術・科学教育をはじめとする教育諸活動への助成、支援を通じ、日本の教育レベルの維持・発展に広く貢献するとともに、我が国の文化芸術及び科学技術の振興に、さらには人材育成の促進に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 学校教育法第1条に定める幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及びこれらの一貫教育校への教育現場改善・充実のための物品支援
- (2) 学校教育法第1条に定める小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及びこれらの一貫教育校に在学する児童・生徒への奨学金給付
- (3) 助成・支援・表彰等を通じ教育・科学技術の振興に広く貢献している機関・組織等への助成、支援
- (4) 科学技術の振興に資する人材育成のための研修等およびそれに必要な施設の運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

5. 主たる事務所の状況

主たる事務所は、東京都世田谷区喜多見1-18-6に置く。

6. 役員等に関する事項

■ 理事・監事・評議員

役職	氏名	常勤・非常勤	現職
理事長	山崎 舜平	非常勤	株式会社半導体エネルギー研究所 代表取締役
理事	卜部 卓	非常勤	元東京大学地震研究所 准教授
理事	小野 元之	非常勤	学校法人城西大学 理事・理事長特別補佐
理事	北原 和夫	非常勤	東京工業大学 名誉教授 国際基督教大学 名誉教授 特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会 理事
理事	榊 裕之	非常勤	学校法人トヨタ学園 常務理事 前豊田工業大学 学長
理事	高木 展郎	非常勤	横浜国立大学 名誉教授
監事	木曾 功	非常勤	千葉科学大学 学長
監事	中野 智美	非常勤	公認会計士 税理士
評議員	稲垣 修	非常勤	元世田谷文学館 副館長
評議員	江崎 典宏	非常勤	独立行政法人日本学術振興会 理事
評議員	大林 義博	非常勤	元軽井沢町議会 議長
評議員	加藤 國美	非常勤	医療法人嘉祥会山口医院 理事長
評議員	佐藤 雅義	非常勤	元軽井沢町長
評議員	田中 保樹	非常勤	北里大学理学部 准教授
評議員	戸谷 一夫	非常勤	元文部科学省 文部科学事務次官
評議員	山崎 慶子	非常勤	千葉大学大学院医学研究院 人工知能(AI)医学 特任講師
評議員	山本 金五	非常勤	元横浜国立大学教育人間科学部附属 教育デザインセンター 主任研究員
評議員	山本 雅司	非常勤	株式会社半導体エネルギー研究所 取締役会長 元資源エネルギー庁 長官

令和2年3月31日時点、敬称略

■ 選考委員

役職	氏名	常勤・非常勤	現職
選考委員長	北原 和夫	非常勤	東京工業大学 名誉教授 国際基督教大学 名誉教授 特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会 理事
選考委員	伊東 良和	非常勤	元基督教独立学園高等学校 教頭
選考委員	卜部 卓	非常勤	元東京大学地震研究所 准教授
選考委員	北村 公一	非常勤	国立大学法人横浜国立大学 教育学研究科(教職大学院) 教授
選考委員	清水 勇二	非常勤	国際基督教大学教養学部 教授
選考委員	手島 利夫	非常勤	元江東区立八名川小学校 校長 ESD 円卓会議 委員
選考委員	二俣 泉	非常勤	昭和音楽大学 准教授

令和2年3月31日時点、敬称略

7. 許認可に関する事項

該当なし

II 事業の状況

1. 教育助成事業の応募状況及び採択状況

項目	学校区分	令和元年度				参考:平成30年度			
		応募数	採択数	採択率	金額【千円】	応募数	採択数	採択率	金額【千円】
第13回教育現場支援プロジェクト	幼稚園	0	0	-	0	3	0	-	0
	小学校	69	7	10%	3,551	81	8	10%	3,299
	中学校	32	3	9%	741	44	3	7%	1,108
	高等学校	40	3	8%	728	49	1	2%	699
	中等教育学校	0	0	-	0	2	0	-	0
	義務教育学校	2	0	-	0	4	0	-	0
	合計	143	13	9%	5,020	183	12	7%	5,106
第13回加藤山崎奨学金	小学校	9	2	22%	40	9	2	22%	40
	中学校	77	39	51%	1,170	64	18	28%	540
	高等学校	316	69	22%	3,450	253	84	33%	4,200
	合計	402	110	27%	4,660	326	104	32%	4,780
第11回加藤山崎修学支援金	小学校	3	3	100%	450	6	4	67%	500
	中学校	69	54	78%	5,300	59	48	81%	4,050
	高等学校	279	229	82%	31,360	312	263	84%	32,550
	合計	351	286	81%	37,110	377	315	84%	37,100
支援額・助成額総計					46,790				46,986

(1) 第13回教育現場支援プロジェクト

教育現場における設備・備品の整備や文化・芸術・科学に関する諸活動促進のための物品購入支援を行う事業。全国の国公立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・義務教育学校及びこれらの一貫教育校を対象に、令和元年5月中旬から6月下旬まで応募を受け付けたところ、全国各地の学校から143件の応募があった。支援希望物品を6種類に分類した上で、各分類ごとに選考を行った。

選考委員による書類選考を経て、別添のとおり13校に物品購入支援を行った。支援額の合計は、5,020千円であった。

(2) 第 13 回加藤山崎奨学金

学業全般若しくは文化・芸術・科学分野のいずれかで優秀な成績を修めている児童・生徒が、更なる学業及び技能の向上を図ることができるよう、奨学金の給付を行う事業。

小学 5 年生・中学 2 年生・高校 2 年生を対象に、令和元年 5 月中旬から 6 月下旬まで応募を受け付けたところ、全国各地から 402 名の応募があった。

選考委員による書類審査を経て、110 名への給付を行った。助成額の合計は、4,660 千円であった。

(3) 第 11 回加藤山崎修学支援金

昨今の厳しい経済状況の中で、学業への強い意欲を持ちながら家庭等の事情により修学が困難な児童・生徒に対して、児童・生徒が卒業するまでの間に最大 3 回、奨学金の給付を行う事業。

小学 4, 5, 6 年生・中学生・高校生を対象に、令和元年 5 月中旬から 6 月下旬まで応募を受け付けたところ、全国各地から 351 名の応募があった。

選考委員による書類審査を経て、286 名への給付を行った。助成額の合計は、37,110 千円であった。

上記(1)～(3)の支援額・助成額の総計は、46,790 千円であった。

(4) 第 12 回加藤山崎教育基金贈呈式

令和元年 11 月 17 日、日本学士院において、第 12 回加藤山崎教育基金贈呈式を開催した。贈呈式では、贈呈証・認定証の贈呈のほか、来賓・選考委員による講話や、支援対象校及び支援対象者による挨拶が行われた。

2. 人材育成事業の結果状況

(1) 人材育成研修

① 奨学金受給者のフォローアッププログラム

名称	: 軽井沢教室
目的	: 自然や科学への理解を深め、豊かな人間性や想像力を育むこと
場所	: 加藤山崎教育基金 軽井沢研修所
開催期間	: 令和元年 8 月 5 日(月) ～ 令和元年 8 月 7 日(水)
募集期間	: 平成 31 年 4 月 5 日(金) ～ 令和元年 5 月 7 日(火)
対象	: 加藤山崎奨学金及び加藤山崎修学支援金受給者または過去に

受給した者

教育現場支援プロジェクト支援対象校の学校長より推薦を受けた者

参加人数 : 26 人

参加費用 : 2,000 円/人

活動内容 : 加藤山崎教育基金 山崎 舜平 理事長講演

東京大学大学院理学系研究科 教授 長谷川 修司 先生講演

科学実験 他

費用 : 2,160 千円

②物理オリンピック日本委員会との研修合宿の共同開催

名称 : 「第 51 回国際物理オリンピック リトアニア大会」

日本代表選手候補者キックオフ秋研修合宿

目的 : 国際物理オリンピックに向けて各自の技能や、日本代表選手候補者としての品格を高めること

場所 : 加藤山崎教育基金 軽井沢研修所

開催期間 : 令和元年 9 月 21 日(土) ~ 令和元年 9 月 23 日(月)

対象 : 第 51 回国際物理オリンピック日本代表選手候補者の高校生・中学生

参加人数 : 20 名

活動内容 : セミナー等

費用 : 304 千円

(2)軽井沢研修所の運営

昭和 35 年に加藤与五郎博士によって設立された軽井沢研修所の運営事業。加藤博士が私財を投じて設立し、自ら講師として研修を行った研修所を保存するのみならず、上記(1)を含む人材育成研修等を行う場として有効活用することを目的とする。

平成 31 年 4 月中旬から令和元年 11 月中旬までを開所期間とし、大学・学会等による研修・会議・学術講演会等を実施する場として、施設・設備の提供を行った。開所期間中の研修所運営収入は、5,774 千円であった。

Ⅲ 庶務事項

1. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

当財団の理事会を次のとおり開催し、それぞれの議案を承認可決した。

第 35 回理事会

開催日 令和元年 5 月 27 日
開催場所 成城ホール 4 階 集会室 A
議事事項 第 1 号議案
「平成 30 年度事業報告ならびに決算報告承認の件」
第 2 号議案
「第 23 回評議員会開催及び議案の件」

第 36 回理事会

開催日 令和元年 7 月 10 日(書面決議)
議事事項 第 1 号議案
「第 24 回評議員会開催及び議案の件」

第 37 回理事会

開催日 令和元年 9 月 2 日
開催場所 一般財団法人材料科学技術振興財団 中会議室
議事事項 第 1 号議案
「令和元年度助成三事業支援先承認の件」
第 2 号議案
「第 25 回評議員会開催及び議案の件」

第 38 回理事会

開催日 令和 2 年 3 月 16 日(書面決議)
議事事項 第 1 号議案
「令和 2 年度事業計画(案)・収支予算(案)承認ならびに
教育助成事業安定化基金・研修所運営安定化基金・研修
所修繕基金・研修所付属設備維持管理基金取り崩し承認
の件」

(2) 評議員会

当財団の評議員会を次のとおり開催し、それぞれの議案を承認可決した。

第 23 回評議員会

開催日 令和元年 6 月 11 日
開催場所 成城ホール 4 階 集会室 C

議事事項	第 1 号議案 「平成 30 年度事業報告ならびに決算報告承認の件」
	第 2 号議案 「理事改選の件」
	第 3 号議案 「評議員改選の件」
第 24 回評議員会	
開催日	令和元年 7 月 26 日(書面決議)
議事事項	第 1 号議案 「評議員増員による選任の件」
第 25 回評議員会	
開催日	令和元年 9 月 17 日(書面決議)
議事事項	第 1 号議案 「評議員辞任に伴う補欠評議員選任の件」

(3)選考委員会

第 11 回選考委員会	
開催日	令和元年 8 月 16 日
開催場所	一般財団法人材料科学技術振興財団 中会議室
議事事項	I 平成 30 年度支援結果について II 各プロジェクトの予算と応募状況について III 助成 3 事業選考

2.理事・監事・評議員及び選考委員の就退任に関する事項

評議員

・就任	令和元年	7 月 26 日	戸谷 一夫 氏
・退任	令和元年	7 月 31 日	牛尾 則文 氏
・就任	令和元年	9 月 17 日	江崎 典宏 氏

<別添>

第13回教育現場支援プロジェクト支援先一覧

都道府県	学校名	支援内容	支援額【円】
北海道	札幌市立駒岡小学校	歩くスキー用スキー靴	761,400
北海道	帯広市立帯広第一中学校	木製回転式書架 新書用 6段	125,280
岩手県	奥州市立黒石小学校	除雪機	372,600
宮城県	気仙沼市立九条小学校	舞台幕一式	401,686
埼玉県	埼玉県立所沢高等学校	ワイヤレスアンプ一式	177,984
東京都	小平市立上水中学校	散水車	381,240
三重県	鈴鹿市立神戸小学校	図書室用カーテン	157,626
京都府	京都府立洛西高等学校	普通教室用スクリーン	253,000
大阪府	阪南市立貝掛中学校	給湯施設の修繕	234,000
島根県	益田市立高津小学校	トイレの改修	1,500,000
高知県	須崎市立吾桑小学校	40型テレビ	235,000
福岡県	筑紫野市立阿志岐小学校	実物投影機	123,120
熊本県	熊本県立熊本高等学校	冷水機3台	297,000
第13回教育現場支援プロジェクト 支援額合計			5,019,936

事業報告附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。